

令和8年4月14日(火)付南日本新聞11面に入学式の記事が掲載されましたので、紹介します。

薩摩中央高 地域みらい留学 2人入学

さつま町の薩摩中央高校の入学式が8日、同校であった。2026年度からスタートした、生徒を全国か



ら募集する「地域みらい留学」に応募した2人を含む64人の1年生が高校生活に踏み出した。

入学式に臨む新1年生 二さつま町の薩摩中央高校

2人は男子生徒で関東と関西の出身者。ともに生物生産科で学ぶ。

久保美和子校長が「空に向かって伸びていく、さつま町特産の竹のようにしなやかに自分を成長させてほしい」と式辞。新入生代表の内野颯嘉さん(普通科)は「自立、創造、共生の校訓を胸に努力していくことを誓う」と宣誓した。上野俊市町長は「多くの優れた人材を輩出してきた。先輩の意思を受け継ぎ、新たな一ページを築いてほしい」と祝辞を述べた。薩摩中央高は少子化で定員割れが続く。町は地域に根ざした学校づくりを目指し、寮費や通学費の助成など支援に注力している。

(中島裕一郎)